

## 2017年第2四半期（4月～6月）における海外安全対策情報

2017年7月  
在キャンベラ日本大使館

### 1 ACT（首都特別地域）の治安情勢

治安情勢は全般的に安定していますが、他方で日本に比べて犯罪発生率は高く、最近でも車上荒らしや強盗など、少数の犯人による金銭目的の犯罪が発生しています。中にはナイフや銃器を使用した凶悪な強盗事件も発生しており、4月にはキャンベラ南部の住宅地中心に一晚で50件以上の車上荒らしが発生しました。犯罪はショッピングセンター等のみならず、住宅地でも発生し、外出時に貴重品を外部から見えないように携行するとともに、お車やご自宅に防犯対策を施すなど、防犯に対する十分な心掛けが必要です。

### 2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

#### (1) 犯罪発生地域の傾向

昨年度同時期（2016年4月～6月）に比べ、全般的に減少しています。特にWeston Creekで最も大きな減少が見られます。

Weston Creekで40.5%、Wodenで14.4%、North Canberraで11.1%、South Canberraで10.6%減少している一方、Molongloで13.2%増加しています。

#### (2) 犯罪発生件数と犯罪の傾向

ア ACTでの3ヶ月間の犯罪発生件数（カッコ内は昨年同時期の発生件数）

・殺人、殺人未遂	： 1件（ 0件）	∞
・暴行	： 619件（ 650件）	-4.8%
・性的暴行	： 114件（ 109件）	4.6%
・対人犯罪	： 83件（ 60件）	38.3%
・不法目的侵入	： 635件（ 634件）	0.2%
・強盗	： 52件（ 49件）	6.1%
・窃盗	： 2109件（ 2780件）	-24.1%
・車両盗難	： 308件（ 348件）	-11.5%
・器物損壊	： 1346件（ 1261件）	6.7%

#### イ 犯罪の傾向

ACT全体の犯罪発生件数は昨年同時期に比べて10.6%減少しています。犯罪別には、窃盗は24.1%、車両盗難は11.5%減少している一方、対人犯罪が38.3%増加しています。

#### (3) 当地在留邦人の被害について

4月10日未明にマヌカ・コールズ駐車場（一般客使用可能地域）において、車両6台に対する車上荒らしが発生し、在留邦人1人の車が助手席の窓ガラス

を割られ、カーナビを盗まれる被害に遭いました。カーナビは車外から見えな  
いところに隠しておいたにも関わらず被害に遭っており、深夜等で人のいない  
場所では被害を受ける可能性があるので注意が必要です。

### 3 テロ・爆弾事件発生状況

- (1) 豪州政府の発表するテロ警戒レベルは、国家テロ脅威警戒システムの5段階  
中、引き続き上から3番目の「起こりそうである (Probable)」とされていま  
す。
- (2) 豪州全体で2016年に発生したテロ事案は1件、テロ未遂事案は7件とな  
っています。2017年6月にメルボルン東部のサービス・アパートで男が見  
知らぬ男性を射殺し、女性1人を人質に取った上で同アパートに立て籠もり、  
駆けつけた警察と銃撃戦の末、射殺されました。豪州政府は、引き続きテロ容  
疑者の摘発を推進し、政府関連施設等の警備を強化するとともに、若者の過激  
化防止対策に力を入れています。
- (3) 政府中枢の多く集まるACTでは、現在のところ具体的なテロの脅威を示す  
情報は把握されていませんが、世界規模でテロが発生している中、テロ対策が  
重視されています。連邦議会等の警戒体制はより強化されていますが、人が多  
く集まる場所に足を運ぶ際は十分な注意を払う必要があります。

### 4 誘拐・脅迫事件発生情報

邦人の被害については認知していません。

### 5 日本企業等の安全に関わる諸問題

- (1) 一般的に対日感情は良好ですが、シドニー、メルボルン、ブリスベン等大都  
市において、我が国の調査捕鯨やイルカ漁に反対する環境・動物愛護団体によ  
り、小規模ながらデモや抗議活動が行われている他、慰安婦問題に関し在豪韓  
国人団体等によりデモが行われています。
- (2) ACTにおいては認知していません。

参考：

1. [ACT警察犯罪統計](#)
2. [ACT（首都特別地域）の事件発生状況（2017年2四半期）](#)